

退任のごあいさつ

前笠松町長 広江 正明



平成11年6月に町長に就任して以来5期20年にわたり、町政運営に邁進することができましたのは、皆さまからの温かいご支援とご協力のおかげと、心より厚く感謝とお礼を申し上げます。

就任中には、地方分権一括法の施行、三位一体改革、少子高齢化など、自治体を取り巻く環境が目まぐるしく変化するなか、町の第4次及び第5次総合計画を策定し、これに基づき、誰もが安全に安心して暮らすことができるまちづくりを進めてまいりました。

とりわけ、平成16年の合併協議では、住民投票の結果、単独での行政運営の道を歩むこととなり、様々なご意見をいただきながら自治体運営のあり方を見直し、行財政改革に取り組み、皆さまの深いご理解とご協力のもと、今日まで町政運営を務めさせていただくことができました。

木曾川をはじめ地域資源豊かな笠松町の特性を活かした、笠松町でしかできないまちづくりをとの想いから策定しました「リバーサイドタウンかさまつ計画」では、誰もが安全・快適に利用できる自然豊かな笠松みなと公園の整備や、笠松みなと公園から河川環境楽園までのサイクリングロードの整備、その中間地点には水防機能を持つ休憩施設も整備することができました。加えて、都市公園として笠松町運動公園の改修などインフラ整備を行うことにより、親しみのある広域空間の形成、公園などの拠点施設の整備・強化を進め、快適で安全なネットワークづくりを行ってまいりました。これらの拠点施設には町内外から多くの方にお越しいただき、新たな賑わいが生まれつつあります。地域住民の皆さまはもとより利用される方の憩いの場、レクリエーション、

スポーツ及びコミュニティの場として、町内外に笠松町の魅力を発信し、より多くの方が笠松町を訪れ、交流が深まり、さらに活気あふれるまちになるよう、一層の活用を期待しています。

平成19年に施行いたしました道徳のまちづくり条例は、現在の笠松町らしさを象徴する政策として、地域・家庭・学校が一体となり、道徳的風土や社会的模範、マナーやルールを大切に生きた生きがいと誇りのもてるまちづくりに取り組んでまいりました。今では、あいさつ運動や各種イベントでのボランティア活動において、子どもたち自らが行動する姿を目にする機会が増え、「道徳のまち笠松」が浸透してきていると感じています。次世代を担う子どもたちに笠松町の未来を期待せずにはられません。

そんな笠松町の子どもたちの身体と心の成長を願い、学校関係者をはじめ皆さんの念願であった新笠松中学校屋内運動場や小中学校の冷暖房完備、校舎の耐震化、新学校給食センターの建設など、教育施設の整備を実施できたことは、私にとりましても大きな喜びでありました。

私たちの住む笠松町には、町民の皆さま、企業、歴史、自然、文化など、素晴らしい「宝」があります。これらの「宝」を活用し、いきいきと輝く夢のある笠松町となるよう、今後も応援してまいりたいと思っております。

元号が令和となり新たな時代が始まりました。新しい町長を迎え、多くの先人が築いていただいたこの笠松町がますます発展することを心から願いますとともに、町民の皆さまのご健勝とご多幸を祈念いたしまして、退任のあいさつといたします。